

所属名	事務事業名	ページ番号
危機管理防災課	常備消防負担金	2
危機管理防災課	防災航空隊運営経費負担金事業	3
危機管理防災課	消防団員管理事業	4
危機管理防災課	佐賀県消防操法大会出場経費	5
危機管理防災課	消防団員新活動服配備経費	6
危機管理防災課	消防水利整備事業	7
危機管理防災課	消防施設等整備事業	8
危機管理防災課	消防施設等整備維持管理事業	9
危機管理防災課	避難所における新型コロナウイルス感染症対策に係る連絡体制整備事業	10
危機管理防災課	防災訓練	11
危機管理防災課	防災備蓄整備事業	12
危機管理防災課	地域防災計画管理事業	13
危機管理防災課	自主防災組織育成事業	14
危機管理防災課	新型コロナウイルス感染症対策に係る備蓄品整備事業	15
危機管理防災課	避難所における新型コロナウイルス感染症対策に係る広報啓発事業	16
危機管理防災課	国民保護対策事業	17
危機管理防災課	水防対策事業	18
危機管理防災課	水防センター維持管理事業	19

令和3年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	常備消防負担金	事業期間	平成 12 ~	年度
担当部署・係名	危機管理防災課 防災対策係	担当課長名	蘭 英男	
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち		
	施策	07総合的な防災・危機管理対策の充実		
	基本事業	消防・救急体制の充実		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀中部広域連合の消防運営経費に対するの負担金を支出する。				
事業の対象者	市民				
根拠法令等	佐賀中部広域連合規約第15条、佐賀中部広域連合の運営に関する協定書				
決算額の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	3,075,945				
うち佐賀市の負担額	3,075,945				

2 事業の活動実績

活動実績①					単位												
佐賀広域消防局の職員数					人												
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績</th></tr> <tr><td>R2</td><td>454</td></tr> <tr><td>R3</td><td>0</td></tr> <tr><td>R4</td><td>0</td></tr> <tr><td>R5</td><td>0</td></tr> <tr><td>R6</td><td>0</td></tr> </table>	年度	実績	R2	454	R3	0	R4	0	R5	0	R6	0
年度	実績																
R2	454																
R3	0																
R4	0																
R5	0																
R6	0																
454																	
活動実績②					単位												
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績</th></tr> <tr><td>R2</td><td></td></tr> <tr><td>R3</td><td></td></tr> <tr><td>R4</td><td></td></tr> <tr><td>R5</td><td></td></tr> <tr><td>R6</td><td></td></tr> </table>	年度	実績	R2		R3		R4		R5		R6	
年度	実績																
R2																	
R3																	
R4																	
R5																	
R6																	

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

上記活動実績の設定により、負担金の支出を通じ、佐賀広域消防局の運営に寄与し、消防・救急体制の充実に資する。

令和3年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	防災航空隊運営経費負担金事業	事業期間	令和 2 ~ 年度
担当部署・係名	危機管理防災課 防災対策係	担当課長名	蘭 英男
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	07総合的な防災・危機管理対策の充実	
	基本事業	消防・救急体制の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	消防組織法第30条により、市町の長の要請に応じ、航空機を用いて市町の消防を支援するため、佐賀県が佐賀県防災航空隊を設置し、隊員として消防本部等から派遣されている職員を充てている。その人件費に相当する額を各市町が負担金として支払うことにより、佐賀県防災航空隊の円滑な運営を図る。				
事業の対象者	県民				
根拠法令等	防災航空隊の運営に関する協定				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	13,375				
うち佐賀市の負担額	13,375				

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
出動回数（訓練以外）					回
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
0					
活動実績②					単位
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

上記活動実績の設定により、負担金の支出を通じ、佐賀県防災航空隊の運営に寄与し、消防・救急体制の充実に資する。令和3年3月28日に運用を開始したため、令和2年度に関しては実績なし。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	消防団員管理事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	危機管理防災課 消防係	担当課長名	蘭 英男
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	07総合的な防災・危機管理対策の充実	
	基本事業	地域の防災力の向上	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	消防団とは地域の安全を維持するために必要な組織である。その消防団活動に必要な被服の貸与、報酬、補償等の事務を行っている。火災を始め、あらゆる災害に対応できる能力及び体制を確立すべく教育訓練を実施し、団員の育成を図る。また、管理システムを利用し、表彰、報酬支給等の一元的な管理を行うことにより、事務の省力化及び迅速化を図る。				
事業の対象者	消防団員				
令和2年度主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 消防団活動に必要な被服の貸与、報酬、補償等の事務 訓練及び式典に係る事務 消防団員確保のための装備品の充実及びラッピングバス等の広報事業に係る事務 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	281,652				
うち佐賀市の負担額	201,875				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
消防団員数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3,621	3,800	3,800	3,800	3,800		

成果指標②						単位
消防団訓練回数						回
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
125	250	250	250	250		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
年々消防団員数の減少が顕著化し、消防団員の処遇改善の必要性が増している状況である。消防庁も年額報酬及び費用弁償の改定及び直接支給について言及していることから、今後、消防団と協議のうえ十分な検討を行う必要がある。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

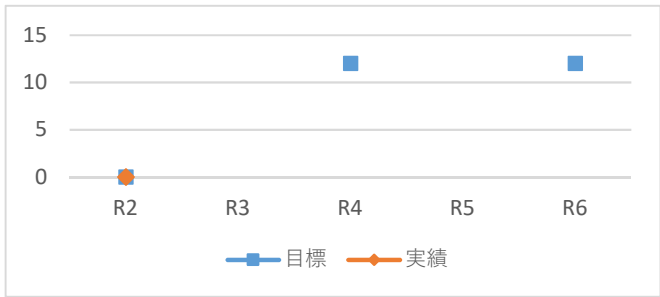
事務事業名	佐賀県消防操法大会出場経費	事業期間	昭和 25 ~ 年度
担当部署・係名	危機管理防災課 消防係	担当課長名	蘭 英男
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	07総合的な防災・危機管理対策の充実	
	基本事業	地域の防災力の向上	

1 事務事業の基本情報

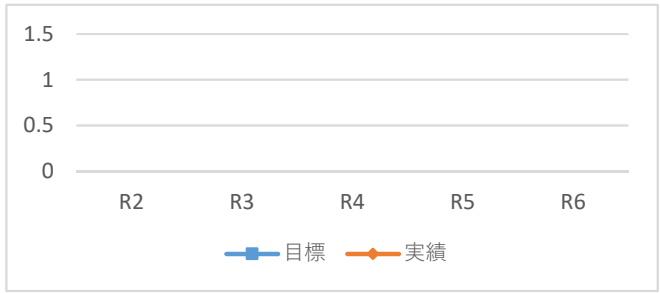
事業概要・目的	消防団員が、県下で消防操法の技術を競い、消防技術の向上と士気高揚を図ることで地域防災力強化に努めるもの。隔年実施で、7～8月ごろに実施される。				
事業の対象者	消防団員				
令和2年度 主な活動実績	・令和2年は新型コロナウイルス感染症のため中止 (平成30年7月29日 小型ポンプ操法の部 佐賀市から3隊出場)				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	0				
うち佐賀市の負担額	0				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
出場団員数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	-	12	-	12		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
小型ポンプ操法、ラップ操法及び自動車ポンプ操法が隔年で実施されており、概ね5月～7月まで大会出場に向けて操法訓練を実施されている。選手として選ばれた団員が操法訓練に打ち込めるようサポートする。

令和3年度 事務事業実績報告シート

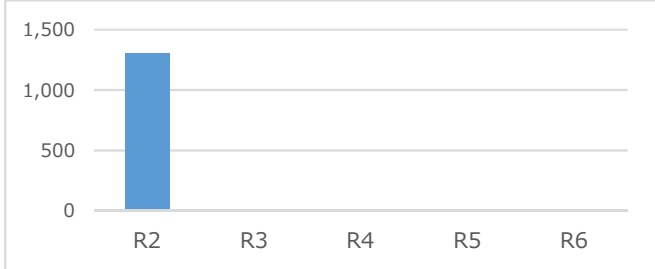
事務事業名	消防団員新活動服配備経費		事業期間	令和 1 ~ 令和 3 年度
担当部署・係名	危機管理防災課 消防係		担当課長名	蘭 英男
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち		
	施策	07総合的な防災・危機管理対策の充実		
	基本事業	地域の防災力の向上		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	平成26年2月7日消防庁告示第1号「消防団員服制基準（昭和25年2月4日国家公安委員会告示第1号）」に基づき、消防団員約3,600人の活動服を更新するもの。 ・令和元年度 北部方面隊団員、消防団役員、女性団員 ・令和2年度 中部方面隊団員				
事業の対象者	消防団員				
根拠法令等					
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	29,442				
うち佐賀市の負担額	29,442				

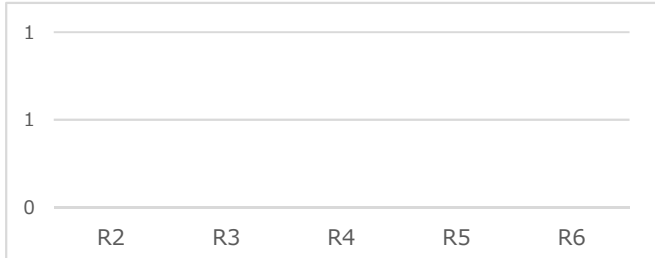
2 事業の活動実績

活動実績①					単位
配備された活動服数					組
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
1,302					



年度	実績数 (組)
R2	1,302
R3	0
R4	0
R5	0
R6	0

活動実績②					単位
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	



年度	実績数
R2	0
R3	0
R4	0
R5	0
R6	0

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

全消防団員に対し、計画的に活動服の配備を行う。

令和3年度 公共事業進捗報告シート

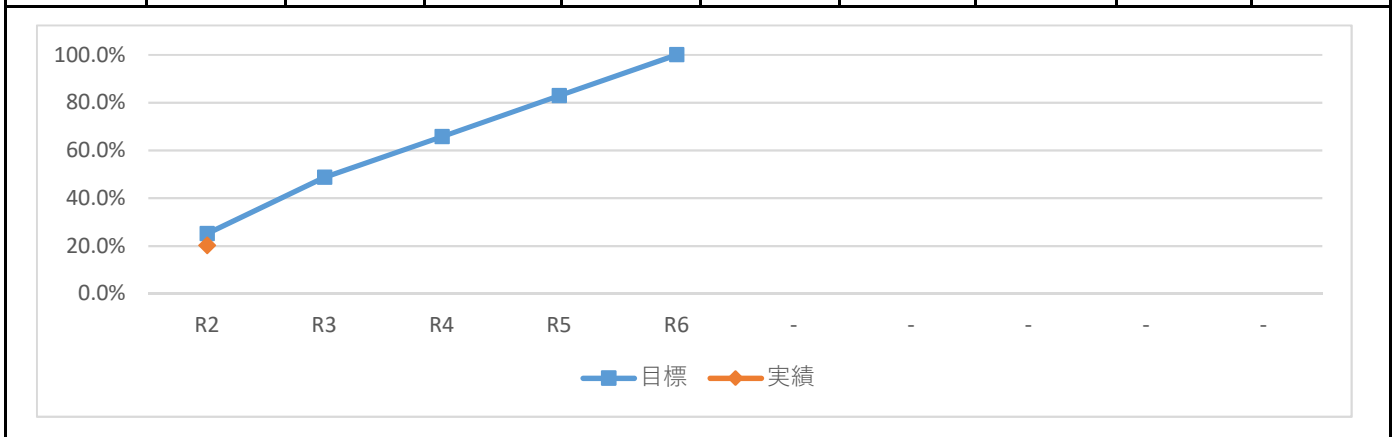
公共事業名	消防水利整備事業		事業期間	昭和 40 ~	年度
担当部署・係名	危機管理防災課 消防係		担当課長名	蘭 英男	
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち			
	施策	07総合的な防災・危機管理対策の充実			
	基本事業	消防・救急体制の充実			

1 公共事業の基本情報

整備概要	防火水槽の整備及び消火栓の新設、移設、修繕等 (事業の進捗率は、総合計画・後期基本計画期間のR2～R6で進捗を示す)				
整備の目的	消火栓や防火水槽等の消防水利の整備を図り、消防用水を確保することで、火災発生時に迅速かつ効果的な消防活動ができる環境整備を行い、安心・安全な市民生活に寄与する。				
事業費決算 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
工事請負費	9,247				
測量・監理等委託料	473				
用地購入費	719				
補償費	95				
その他事務費等	33,104				
計	43,638				
うち佐賀市の負担	27,409				
区分	年度	年度	年度	年度	合計
工事請負費					9,247
測量・監理等委託料					473
用地購入費					719
補償費					95
その他事務費等					33,104
計					43,638
うち佐賀市の負担					27,409

2 事業の進捗率

目標 R2	目標 R3	目標 R4	目標 R5	目標 R6	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
25.2%	48.7%	65.8%	82.9%	100.0%					
20.3%									



令和3年度 公共事業進捗報告シート

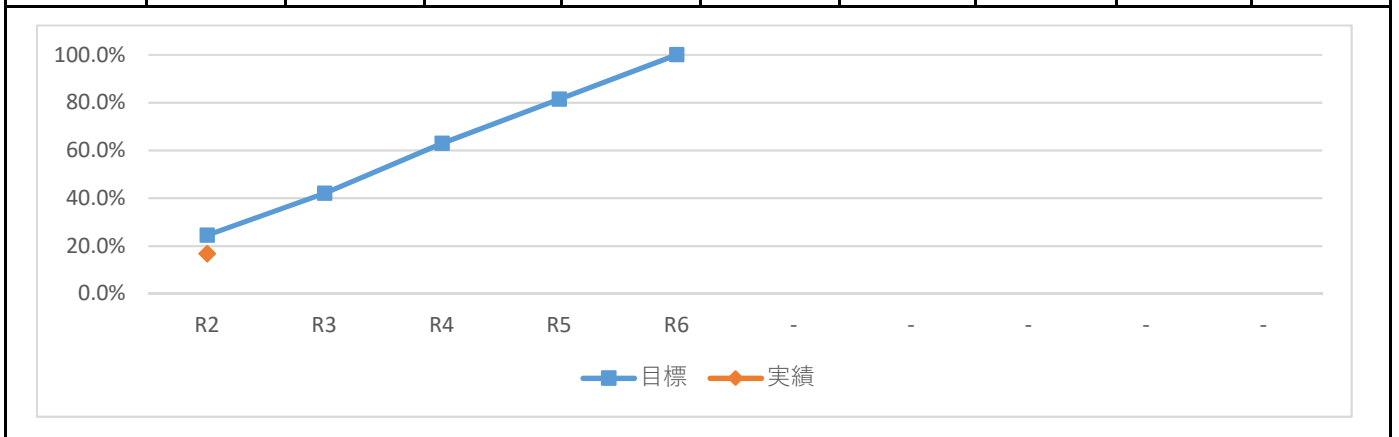
公共事業名	消防施設等整備事業		事業期間	昭和 40 ~	年度
担当部署・係名	危機管理防災課 消防係		担当課長名	蘭 英男	
総合計画に おける位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち			
	施策	07総合的な防災・危機管理対策の充実			
	基本事業	消防・救急体制の充実			

1 公共事業の基本情報

整備概要	・小型動力ポンプ付積載車、消防ポンプ自動車の整備 ・消防格納庫の整備 (事業の進捗率は、総合計画・後期基本計画期間のR2～R6で進捗を示す)				
整備の目的	消防団の消防ポンプ、ポンプ積載車、消防格納庫の消防設備の整備を計画的に進めるとともに、消防設備の整備及び更新を図り、火災発生時の消火活動に支障が出ない体制をつくる。				
事業費決算 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
工事請負費	143,493				
測量・監理等委託料	6,230				
用地購入費	21,842				
補償費	3,898				
その他事務費等	74,219				
計	249,682				
うち佐賀市の負担	2,811				
区分	年度	年度	年度	年度	合計
工事請負費					143,493
測量・監理等委託料					6,230
用地購入費					21,842
補償費					3,898
その他事務費等					74,219
計					249,682
うち佐賀市の負担					2,811

2 事業の進捗率

目標 R2	目標 R3	目標 R4	目標 R5	目標 R6	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
24.5%	42.0%	62.9%	81.4%	100.0%					
16.8%									



令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	消防施設等維持管理事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	危機管理防災課 消防係	担当課長名	蘭 英男
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	07総合的な防災・危機管理対策の充実	
	基本事業	地域の防災力の向上	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	消防団の消防ポンプ、ポンプ積載車、消防格納庫等の消防設備の整備を計画的に進めるとともに、消防設備の整備・更新、維持管理を図り、火災発生時の消火活動に支障が出ない体制をつくる。				
事業の対象者	市民、消防団員				
令和2年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・消防積載車車検及び点検整備 ・消防積載車及びポンプ修繕 ・消防格納庫及び防火水槽修繕 ・消防資機材の整備 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	31,943				
うち佐賀市の負担額	30,193				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
消防格納庫建替棟数						棟
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
6	5	5	5	5		

成果指標②						単位
消防積載車更新台数						台
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
10	10	10	10	10		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
消防施設の更新及び消防資機材の整備を計画的に施行するとともに、消防施設等の不具合等が生じた際は早急に修繕し、日頃から点検整備を行うことにより、地域の防災力の維持及び向上を図る。

令和3年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	避難所における新型コロナウイルス感染症対策に係る連絡体制整備事業	事業期間	令和 2 ~	年度
担当部署・係名	危機管理防災課 防災対策係	担当課長名	蘭 英男	
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち		
	施策	07総合的な防災・危機管理対策の充実		
	基本事業	消防・救急体制の充実		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	避難所間及び各避難所と災害対策本部で情報を共有し、避難所が過密状態とならないような誘導を行うため、1次、2次避難所となる施設にタブレット端末（87台）を配備する。				
事業の対象者	市民				
根拠法令等					
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	3,143				
うち佐賀市の負担額	0				

2 事業の活動実績

活動実績①					単位	
タブレット端末の配備数					台	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
87						
活動実績②					単位	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

この事業は、新型コロナウイルス感染症の急激な拡大を受け、災害発生時の市民の誘導を円滑に行うため、国の臨時交付金事業を活用し実施したものである。令和2年度において、必要数量の配備を完了したことから、今後は通信契約等の維持管理を継続する。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	防災訓練	事業期間	平成 7 ~ 年度
担当部署・係名	危機管理防災課 地域防災係	担当課長名	蘭 英男
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	07総合的な防災・危機管理対策の充実	
	基本事業	地域の防災力の向上	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	消防、警察、自衛隊、日本赤十字、ボランティア団体など災害に関わる機関・団体との連携を図るため、地域住民・事業所参加型の総合防災訓練を実施し、市民の防災意識を向上させる。				
事業の対象者	市民、事業者、防災関係機関・団体、市職員				
令和2年度 主な活動実績	佐賀市総合防災訓練を実施（R2.11.29 佐賀県立佐賀東高等学校）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	597				
うち佐賀市の 負担額	597				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
住民の訓練参加率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1	2	4	6	8		

年度	目標	実績
R2	1	1
R3	2	
R4	4	
R5	6	
R6	8	

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3		
R4		
R5		
R6	1.5	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
より多くの地域住民が参加できるよう、自主防災組織等と連携を図りながら、実践的な訓練を実施する。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	防災備蓄整備事業	事業期間	平成 24 ~ 年度
担当部署・係名	危機管理防災課 防災対策係	担当課長名	蘭 英男
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	07総合的な防災・危機管理対策の充実	
	基本事業	地域の防災力の向上	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	東日本大震災の教訓を踏まえ、市民の避難所における生活環境の向上を図り、避難生活での不便をできるだけ解消するため、災害時に必要となる食料、飲料水、生活必需品及び資機材等の維持管理及び更新を行う。				
事業の対象者	市民				
令和2年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・物資の補充及び更新（台風第10号接近時に対応したものを含む） ・防災備蓄倉庫の管理 ・災害時に使用した毛布類のクリーニング、再配備 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	11,301				
うち佐賀市の負担額	7,468				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
食料の備蓄総量					食
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
57,642	37,105	37,105	37,105	37,105	

成果指標②					単位
毛布の備蓄総量					枚
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
11,173	11,595	11,595	11,595	11,595	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
佐賀市防災備蓄計画に基づき、適正な管理、更新を行うとともに、中山間地における孤立予測を実施し、孤立予測地域への事前の物資備蓄等についても十分な対策を実施する。 ※令和3年度から「佐賀市防災備蓄計画」の運用を開始し、この計画（1日3食+a）に合わせて、目標を設定している。令和2年度までの実績に関しては、摂取カロリーを考慮した数値（1日6食+a）となっている。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	地域防災計画管理事業	事業期間	平成 24 ~ 年度
担当部署・係名	危機管理防災課 防災対策係	担当課長名	蘭 英男
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	07総合的な防災・危機管理対策の充実	
	基本事業	危機管理対策の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	災害対策基本法の改定、佐賀県地域防災計画の修正及び防災に対する本市の新たな取り組み等を踏まえた佐賀市地域防災計画の見直しを行うとともに、佐賀市地域防災計画に基づく事業を実施することにより、防災・減災体制の充実を図る。				
事業の対象者	市民				
令和2年度主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀市地域防災計画の更新（印刷製本、配布・郵送） ・避難所誘導看板の修繕 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	683				
うち佐賀市の負担額	683				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
近所の避難場所・避難所を把握している割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
83.5	83.8	84.2	84.6	85.0		

成果指標②						単位
室内の地震対策や非常用持ち出し袋の準備をしている割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
26.9	36.8	41.2	45.6	50.0		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
繰り返し広報を実施し、認知度の向上を図る。出前講座の実施等、地域の防災力向上を図る。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	自主防災組織育成事業	事業期間	平成 20 ~ 年度
担当部署・係名	危機管理防災課 地域防災係	担当課長名	蘭 英男
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	07総合的な防災・危機管理対策の充実	
	基本事業	地域の防災力の向上	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	自主防災組織の結成を促進するとともに、自主防災組織が行う防災活動及び資機材の整備に対し補助を行い、自主防災組織の育成・強化を図る。				
事業の対象者	自主防災組織が未結成の地区及び既存自主防災組織				
令和2年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 職員出前講座の実施 51回 自主防災組織が行う防災活動及び資機材の整備等に対する補助 延べ107組織 自主防災組織研修会の実施（R2.10.10、自主防災組織94組織、未結成の校区1校区が参加） 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	17,868				
うち佐賀市の負担額	16,168				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
自主防災組織率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
79	80	82	84	86		

成果指標②						単位
研修会参加団体数						団体
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
95	105	115	125	130		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
自主防災組織未結成の地区に対し、職員出前講座等を実施しながら組織結成を呼び掛ける。また、既存の自主防災組織の活動を活性化させるため引き続き助成交付を行う。

令和3年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策に係る備蓄品整備事業	事業期間	令和 2 ~ 令和 2 年度
担当部署・係名	危機管理防災課 防災対策係	担当課長名	蘭 英男
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	07総合的な防災・危機管理対策の充実	
	基本事業	危機管理対策の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に係る備蓄品を調達し、各指定避難所及び拠点備蓄倉庫等に整備することで、避難所における新型コロナウイルス感染症への対応を行う。				
事業の対象者	市民				
根拠法令等					
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	32,329				
うち佐賀市の負担額	0				

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
パーティションの所有数量					台
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
1,744					

活動実績②					単位
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

この事業は、新型コロナウイルス感染症の急激な拡大を受け、避難所における感染症の拡大や感染を恐れるために避難行動が遅れるといった事態を回避するため、国の臨時交付金事業を活用し実施したものである。令和2年度において、必要数量の確保を完了したことから、事業を完了する。

令和3年度 事務事業実績報告シート

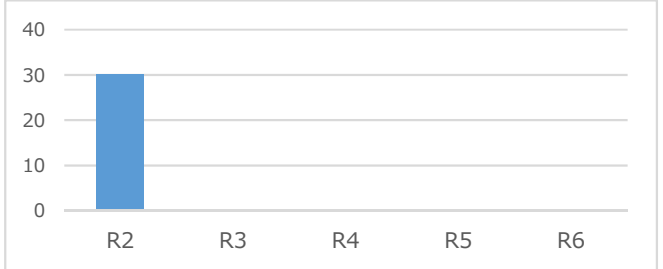
事務事業名	避難所における新型コロナウイルス感染症対策に係る広報啓発事業	事業期間	令和 2 ~ 令和 2 年度
担当部署・係名	危機管理防災課 防災対策係	担当課長名	蘭 英男
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	07総合的な防災・危機管理対策の充実	
	基本事業	地域の防災力の向上	

1 事務事業の基本情報

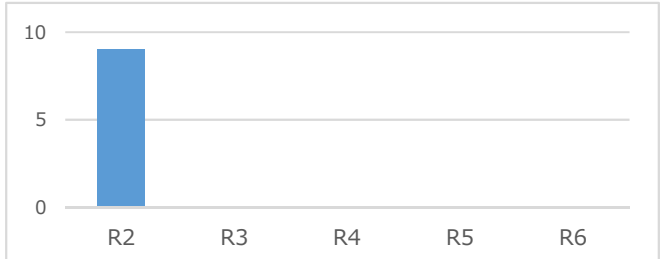
事業概要・目的	避難所での新型コロナウイルス感染症の感染リスクを下げるため、市民に対し、事前準備や避難行動に関する広報啓発を行う。				
事業の対象者	市民				
根拠法令等					
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	1,980				
うち佐賀市の負担額	0				

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
メディア広報時間					分
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
30					



活動実績②					単位
動画制作本数					本
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
9					



3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

この事業は、新型コロナウイルス感染症の急激な拡大を受け、避難所における感染症の拡大や感染を恐れるために避難行動が遅れるといった事態を回避するため、国の臨時交付金事業を活用し実施したものである。令和3年度以降においては、令和2年度に作成した素材等を活用し、通常の防災に関する広報と一緒に実施することから、事業を完了する。

令和3年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	国民保護対策事業	事業期間	平成 18 ~	年度
担当部署・係名	危機管理防災課 防災対策係	担当課長名	蘭 英男	
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち		
	施策	07総合的な防災・危機管理対策の充実		
	基本事業	危機管理対策の充実		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市域に及ぶ武力攻撃事態等において、市民の避難、救済措置、武力攻撃による災害に対する応急措置の実施に関する計画書を作成し、国・県・市が一体となった国民の保護体制を整備する。				
事業の対象者	市民				
根拠法令等	武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	11				
うち佐賀市の負担額	11				

2 事業の活動実績

活動実績①					単位	
全国瞬時警報システムの訓練回数					回	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
4						
活動実績②					単位	
国民保護協議会会議開催回数					回	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
-						

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

この事業は、国の計画の変更などを受けて、本市の計画等を変更するもの。そのほか、国からの情報伝達を受け、その情報を速やかに市民に周知するものとなっている。国民保護計画の大幅な変更等については、国の計画変更によるところであり、今後もその影響を受けるものと考えられる。全国瞬時警報システムは必要時での適正運用できるよう、定期的な訓練が行われるものと見込まれる。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

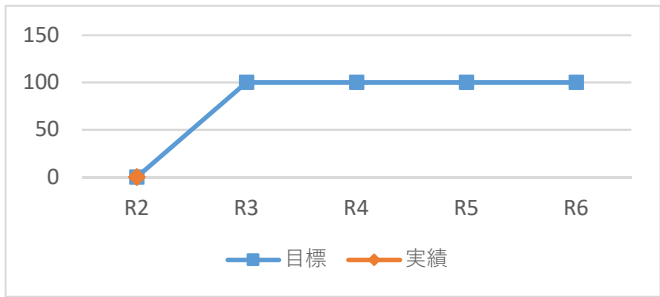
事務事業名	水防対策事業	事業期間	昭和 40 ~	年度
担当部署・係名	危機管理防災課 地域防災係	担当課長名	蘭 英男	
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心して利便性が高い暮らしが実感できるまち		
	施策	07総合的な防災・危機管理対策の充実		
	基本事業	危機管理対策の充実		

1 事務事業の基本情報

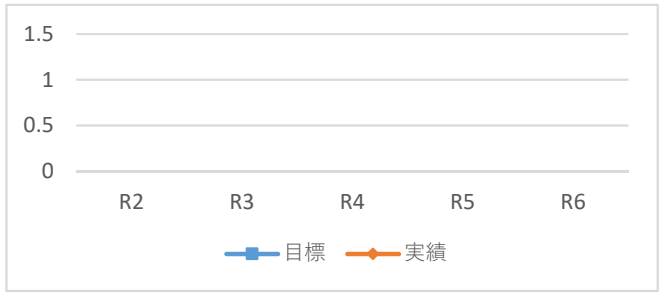
事業概要・目的	洪水・津波・高潮による水害を軽減させるため、水防用資機材を整備するとともに、消防団と連携した水防訓練を実施し水害発生時に備える。				
事業の対象者	市民				
令和2年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・水防体制の設置（令和2年度水防体制24回） ・消防団と連携した水防訓練の実施（令和2年度新型コロナウイルス感染拡大のため中止） ・水防資機材の整備 ・水防災情報システムの保守・運用 ・水防倉庫の設置及び撤去 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,555				
うち佐賀市の負担額	3,555				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
水防訓練参加者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	100	100	100	100		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
水防工法の知識・技術を習得するとともに、消防団の連携・強化を図るため、水防訓練を実施する。また、水害発生時に備え、引き続き水防用資機材の整備を行う。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	水防センター維持管理事業	事業期間	平成 22 ~ 年度
担当部署・係名	危機管理防災課 地域防災係	担当課長名	蘭 英男
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	07総合的な防災・危機管理対策の充実	
	基本事業	危機管理対策の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	嘉瀬川の堤防が洪水などで破堤した場合に備え、災害復旧に必要な資材を備蓄し、水防活動の拠点として水防センターの維持管理を行う。消防団と連携した水防訓練を実施し水害発生時に備える。				
事業の対象者	市民				
令和2年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理 ・消耗品等の整備 ・消防団と連携した水防訓練の実施（令和2年度新型コロナウイルス感染拡大のため中止） ・佐賀市行事等での利用 ・他市町・団体の視察対応 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,919				
うち佐賀市の負担額	1,919				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
水防訓練及び水防に関する講座等の実施回数						回
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	2	3	4	5		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
災害に備え、施設の適切な管理に行うとともに、水防資機材を整備する。また、水防工法の知識・技術を習得するとともに、消防団の連携・強化を図るため、水防訓練を実施する。